



後藤 久男

◆土岐市立総合病院の経営形態の在り方について

◎松原一仁新病院長の所信表明

◎今年4月1日から、従来の病診連携室を発展させた地域医療連携室を開設。診療所や病院、介護施設、行政機関との連携を強化して、地域全体で疾病予防、医療、介護が隙間無く行われることを目指す。

さらに、医療情報企画室を新設し、医療請求の改善、各種の業務プロセスの見直しにより収入の増加、支出の削減を図っていく。両室とも専従看護師を含む5人体制。地域医療連携室では、検査や診療などの前方連携や、入院患者の自宅復帰のための広報連携を、これまで以上に積極的に取り組む。医療情報企画室は、医療の質向上と経営改善を目的としている。

◎累積赤字について

◎昨年の3月末現在の累積赤字は、33億8261万5762円。累積赤字のもとになる単年度収支は、2006年度から4年間、約4億円前後

の赤字が続いていた。しかし2007年度の約4億6千万をピークに減少してきており、2011年度は約1億2千7百万円となり、累積赤字の増加額は縮小してきた。引き続き経営状況の改善に努めて行きたい。

◎一般会計からの繰入金について

◎平成20年度、7億9229万525円。21年度、8億8963万3495円。22年度、9億3373万199円。23年度9億9708万1千円。24年度、11億1845万8760円で合計5年間で47億3119万5101円である。

◎変わる公立病院経営（京セラ式病院管理手法）の導入について

◎公立の甲賀病院を始めとして松下記念病院などに導入され、収益部門だけの原価計算の対象とされない診療科以外のサポート部門も原価計算の対象となることよって、職員全員の経営への参加意識が高まって、黒字化に貢献した大変魅力的なシステムであると考えますが、今年度から医療情報企画室を新設し、DPC（ダイアグノス・プロシージャ・コンピネーション）請求のデータから出来高請求との差額分析、患者数、在院日数、医療資源に分析するシステムを導入したばかりで、経費面の負担増になるので導入は困難である。

《第3回定例会一般質問》



高井由美子

◆避難場所の見直しについて

◆通学路の安全確保について

◆期日前投票の宣誓書について

◎土岐市地域防災計画の全面見直しの中で避難場所の見直しの進捗状況をお伺いします。

◎災害図上訓練を実施しながら、各自治体と協議して見直す予定が見直しには至っていない。

◎今年度、避難場所の見直しなどは、より実効性の高い図上訓練を実施し住民のご意見を踏まえ、地域防災計画の改定に取り組みたい。

◎シエイクアウト訓練、それぞれその時にいる場所地震から身を守るための自主参加型一斉防災訓練を実施してみるお考えをお伺いします。

◎将来的には、手法とかを検証した上で実施を考えたい。

◎通学路の安全対策の現状は。

◎教育委員会及び学校が対策を講ずるべき場14カ所のうち10ヶ所は昨年度対策済み。2ヶ所は6月中に完了し2ヶ所は今年度中に対応する。市道に係る部分は22ヶ所。4ヶ所

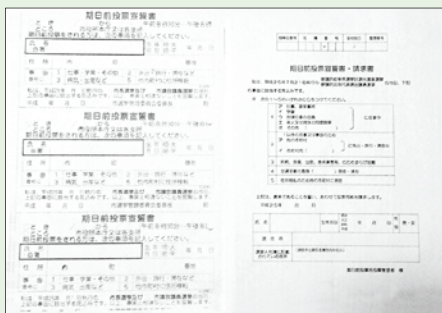
は24年度中に対策を講じ済み。残りの18ヶ所も今年度に予算計上されている。

◎近隣市のように、通学路の危険箇所を市のホームページに掲載して公表するお考えをお伺いします。

◎教育委員会としては、ホームページ上で市民全体に公表はしない。

◎期日前投票の際に提出する宣誓書について、県外の他市では入場券の裏面に宣誓書を印刷していたり、県内山県市では入場券に連記し郵便さ夫されお考えを伺います。

◎県の行政情報センターを利用して17市のうち、はがき方式の入場券作成市は15市で宣誓書の印刷は全て実施せず。当市では、入場券を送後宣誓書の用紙を市のHPからダウンロードできる。



▲期日前投票宣誓書



塚本 俊一

◆消防行政について

問女性消防士を採用してはどうか。

答他市の状況を踏まえながら研究していきたいと思っております。

問外国人・聴覚障害者のためのSOS「指さしカード」を救急業務等に導入している経緯と実績について

答平成5年ごろから救急車に搭載し対応してきております。

平成24年度の実績はございません。

◆市内のカーブミラーについて

問市内のカーブミラーを掌握され把握されているか。また管理者別に本数を把握されているか。

答交通安全設置台帳というものを市で備えて、管理をしております。平成25年5月末現在で1370基であります。

問自然災害や台風・突風・交通事故などによるカーブミラーによる事故の補償について。

答土岐市が管理するカーブミラーによる事故は全部補償対象になります。問東濃地区交通安全協会土岐支部支部長の土本勇夫さんから要望書。土

岐市内に設置してある当交通安全協会所有のカーブミラーの移管をお願いしたいとの件について。

答協会の物件として、確認できたのは139基であります。市道に設置してあるカーブミラーを対象に管理をいたします。設置場所が個人地である場合は、土地所有者の承諾書を取っていただくことにより維持管理をしていきます。条件を満たしていただければ、順次移管の手続きに入らせていただきます。

◆風疹予防ワクチンについて

問土岐市は、県の風疹予防ワクチン接種費用の補助を受け、土岐市として風疹予防ワクチン接種に補助をすると思いますが、具体的な補助制度についてお伺いいたします。

答被接種者は、県と同様と考えており、風疹の罹患歴がなく、風疹ワクチン接種の履歴がない方で、女性は23才以上で妊娠の予定・または希望している方、男性については、妊娠している女性の夫のうち妊婦健診で風疹の抗体が十分でないかと判断された方を対象とします。補助金は、接種費用上限1万円として、平成25年7月1日より、平成26年3月31日までを予定しております。補助対象人員を350人と想定し、350万円を既予算内で対応する予定です。

《第3回定例会一般質問》



西尾 隆久

◆選挙投票率の向上について

問最近の選挙投票率の見解は。

答身近な市長、市議会議員選挙は比較的高く、国政選挙になると低くなる傾向で、情報化社会のなかで結果の見えるような選挙に対して、余り関心を示さなく、行政の立場としては自分の権利を行使いただきたい。

問年代別の投票率について

答昨年12月の衆議院総選挙の20代38・10%、30代56・91%、40代72・20%、50代71・04%、60代80・77%、70代73・31%、80歳以上45・51%。

1月の知事選挙が20代21・82%、30代32・63%、40代39・09%、50代46・43%、60代51・29%、70代55・36%、80歳以上27・49%。

問ポスター掲示板の数と見直しについて

答公職選挙法により算定方法が決まられており、本市は207箇所であり、周囲の状況の変化により、最近では、市長、市議選で地主の意向で2箇所、衆議院選挙、知事選で2箇所、その他に土岐津町の投票区で移

動の希望があり、1箇所移動した。地元の意見を伺うなかで、変更は可能である。

問投票所の見直しについて

答土岐市中に28箇所の投票所があり、その内12箇所については、何らかの欠陥があると思っている。今後の検討課題である。

◆土岐市観光大使委嘱について

問本市の観光大使は、また要請したことはあるのか。

答本市の観光大使は無く、また現在のところ、観光大使へのアプローチはしていない。

問観光大使により本市の知名度向上を図ってはどうか。

答観光振興計画では、観光計画における重要な柱として、土岐市の知名度の向上及び効果的な情報発信の推進を掲げており、知ってもらい、来てもらう観光まちづくりのために、土岐市にゆかりのある人物を観光大使に登用していくことを具体的な取り組みの一つとして位置づけているところであり、観光振興計画実現のため、いろんな取り組みを進めるなかで、観光大使についても、積極的に進めてまいりたい。





山田 正和

◆文化財について

問 本年2月27日の文化審議会文化財分科会におきまして、土岐市が所有する岐阜県元屋敷陶器窯跡出土品が国の重要文化財に指定されました。今後展示するなどの活用方法と収蔵庫についてはどのようにお考えでしょうか。

答 出土品につきましては、今回廃止をしました文化会館で保存してございます。

この先、収蔵庫等どうするかということは、まだ計画を立てている段階でございませんので、よろしくお願いたします。

また展示につきましては、文化会館は老朽化が進んでおり、耐震の手だてもしてございません。

隣接して美濃陶磁歴史館がございますので、そちらでの展示ということにさせていただきたいと思っております。

●岐阜県元屋敷陶器窯跡出土品が国の重要文化財に指定されたということとは大変喜ばしい事です。

また、美濃焼を市民や他の地域から来た人々に知っていただくまたないチャンスであると思っております。

土岐市の地場産業発展のためにも期間が短い特別展というより、土岐市の観光コースとして組み込めるような常設で出土品の展示をしていただきますようお願いいたします。



◆防災について

問 先日泉町で発生した火災で感じたことですが、実際に使用距離に即していないように思われる消火栓の配置や備蓄されているホースの量についてはどのようにお考えでしょうか。

答 消火栓の距離については、消防法で規定されていますので、今のところ変えるつもりはございません。しかし地形によっては、状況を見ながら設置についてかんがえていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

●平時ではなかなか実感できませんが火災が起きた場合は大変現場が混乱する事も考えられると思います。

余裕を持った消火栓位置やホースの長さを想定した計画が今後なされる事をお願いいたします。

《第3回定例会一般質問》

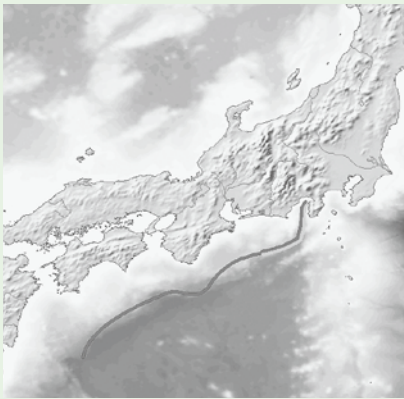
◆防災について

問 今年度の防災計画、南海トラフ巨大地震の備えについて。

答 今年度の防災事業は、駄知小学校、泉中学校耐震工事。妻木橋の耐震化事業及び深沢川、ヤオタ川の改修。南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ最終報告では、備蓄食料は一般の家庭で一週間分が必要との見解が示され、市としても市民の方々へホームページ、広報紙及び本年度開催予定のDIG訓練、防災講演会など、食料及び飲料水の緊急用備蓄に対する啓蒙を強化し、市にお



北谷 峰二



いても、あくまでも自助が基本であるというスタンスに立ち防災倉庫新規設置、既設防災倉庫にガス発電機配備等資機材の充実、地域防災計画の全面改定。それに伴い避難所見直し、職員行動・避難所運営・非難時伝達マニュアルの作成など、ハード、ソフト両面で減災活動を実施。

問 山が近い地域の消火栓について。

答 山間部を走る水道管自体が50mmでかなり細く、設置したくてもできない所が多い。

問 代案として防火水槽設置や作ることを考えないのか。

答 要望があれば、予算面もありますと考えていきたい。



◆総合病院待ち時間の改善について
問 待ち時間緩和の為に本の設置が出来るのか。

答 経費の問題や本を置けるスペースの確保が困難であり難しい。